

全国に点在する ゆかりの地

酒井家は、徳川家と同じく三河国（現在の愛知県東部）に興り、初代忠次は軍事・内政・外交で功績を挙げた。2代家次から3代忠勝にかけて、下総国臼井、上野国高崎、越後国高田、信濃国松代を経て、出羽国庄内に入部した。今なお庄内に住まう酒井家ゆかりの地は、全国に広がっている。

1 ハママシケ陣屋跡
安政6年(1859)、奥羽6藩に蝦夷地が分与され、庄内藩が陣屋を置いた地。
北海道石狩市浜益区川下

2 木古内入植地
明治期、旧庄内藩士が開拓移住した地。鶴岡市と木古内町は姉妹都市盟約。
北海道上磯郡木古内町

3 龍昌院
戊辰戦争で庄内藩が敵軍である横手勢の戦死者を埋葬。
秋田県横手市城西町 4-8

4 高田城址公園
元和2年(1616)から3年、2代家次・3代忠勝が在城。高田10万石を領した。
新潟県上越市本城 44-1

5 松代城跡
元和5年(1619)から3年、3代忠勝が在城。松代10万石を領した。
長野県松代市松代町松代 18-2

6 高崎城址公園
慶長9年(1604)から12年、2代家次が在城。東門などが復原されている。
群馬県高崎市高松町

7 酒井家上屋敷跡
江戸城大手門近くにあった江戸参勤の折の邸。現在は標柱が設置されている。
東京都千代田区大手町

8 臼井城址公園
天正18年(1590)から14年、2代家次が在城。現在は公園となっている。
千葉県佐倉市臼井字城之内

9 新徴組屯所跡
庄内藩の預かりとなり、江戸市中の治安維持に努めた新徴組の屯所跡。
東京都千代田区飯田橋

10 日向院
徳川家の菩提寺である大樹寺の塔頭で、酒井広親をはじめ前6代の墓がある。
愛知県岡崎市朝田町字弘元 10-1

11 吉田城址(豊橋公園)
初代忠次の居城。徳川家康が三河国を平定した後、東三河支配の拠点となった。
愛知県豊橋市今橋町

12 先求院
知恩院の塔頭で、初代忠次の御廟所。山上に忠次と妻・碓井姫の墓がある。
京都府京都市東山区林下町 403

13 高野山奥之院
空海御廟に向かう参道に大名墓所が続く。2代家次などの墓がある。
和歌山県伊都郡高野町高野山

14 南洲墓地
西南戦争に従軍、戦死した旧庄内藩士2名の墓がある。
鹿児島県鹿児島市上電尾町 2-1



酒井家庄内入部400年 酒井家と庄内藩 ゆかりの地

鶴岡・庄内を中心として全国各地に点在する酒井家と庄内藩ゆかりの地の一部を紹介します。

歴史と文化が薫る、今も殿が暮らすまち —— 鶴岡・庄内。

徳川四天王の筆頭とされる酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家。元和8年(1622)、3代忠勝が庄内に入部してから、令和4年(2022)で400年を迎えました。入部400年を迎えた鶴岡・庄内には、鶴ヶ岡城址である鶴岡公園をはじめ、各地に酒井家と庄内藩ゆかりの地があります。鶴岡公園を中心とした鶴岡市街地には、庄内藩校旧致道館など歴史的建造物が集まり、鶴ヶ岡城三ノ丸の堀の役割を果たした内川が流れ、現代建築と調和しながら、城下町の面影と風情を残しています。



鶴岡市の中心市街地。鶴岡公園を中心として、歴史的建造物と現代建築が調和している。

湊町酒田には、江戸時代より豪商として知られた本間家の旧本邸や、明治時代に酒井家を中心となって建設した山居倉庫などが残っています。酒井家と庄内藩ゆかりの地は、私たちのかけがえのない歴史と文化を今に伝えています。

酒井家と庄内の歴史

酒井忠次に始まる酒井家と庄内藩の歴史をたどると、そのゆかりの地が見えてきます。

永禄8年(1565)	酒井家初代忠次が吉田城に入城し、徳川家康から東三河の統治を任せられる	文化2年(1805)	9代忠徳が藩校致道館を大宝寺地内(現・鶴岡市日吉町)に設立する
天正3年(1575)	忠次が長篠の戦いで戦功をあげる	13年(1816)	10代忠器が藩校致道館を三ノ丸内(現在地)に移転する
天正16年(1588)	忠次が隠居、京都に住む	天保11年(1840)	庄内藩酒井家、長岡藩牧野家、川越藩松平家に国替えが命じられる(三方領知替え)
18年(1590)	2代家次が下総国臼井3万石を与えられる	12年(1841)	農民の反対運動などもあり三方領知替えが撤回
慶長元年(1596)	忠次死去。京都・知恩院の塔頭・先求院に埋葬される	安政6年(1859)	蝦夷地が分与、庄内藩はハママシケに陣屋を置く
6年(1601)	庄内が最上義光の統治下となる	文久3年(1863)	庄内藩が江戸市中取締を命じられる。庄内藩の預かりとなった浪士組が新徴組と改称する
8年(1603)	大宝寺城が鶴ヶ岡城、東禅寺城が亀ヶ崎城と改称される	慶応3年(1867)	庄内藩が江戸の薩摩藩邸を焼き討ちする
9年(1604)	家次が上野国高崎5万石に転封となる	4年(1868)	戊辰戦争が起こる。同年9月、庄内藩が降伏
元和2年(1616)	家次が越後国高田10万石に転封となる	明治5年(1872)	西郷隆盛の指示により寛大な措置を受ける
5年(1619)	3代忠勝が信濃国松代10万石に転封となる	23年(1890)	旧庄内藩士3千人が庄内一円の人々と後山(現・松ヶ岡)を開墾
8年(1622)	忠勝が出羽国庄内13万8千石に入部する	26年(1893)	西郷の教えをまとめた『南洲翁遺訓』が刊行
寛永9年(1632)	熊本藩主・加藤忠廣が改易、酒井家預かりとなり、庄内藩領は14万石となる	大正10年(1921)	酒田市に山居倉庫が建設される
正保4年(1647)	酒井忠勝の3男忠恒に松山2万石、7男忠解に大山1万石が分け与えられる	昭和25年(1950)	酒井家庄内入部300年記念の行事が挙行される
寛文12年(1672)	河村瑞賢が西廻り航路を整備し、酒田に幕府の米置き場を設置する	令和4年(2022)	酒井家の寄付により、財団法人以文会(現・公益財団法人 致道博物館)が設立される
元禄3年(1690)	黒川能がはじめて鶴ヶ岡城中で演じられる		酒井家庄内入部400年記念の行事が挙行される
安永8年(1779)	若年寄の松山藩主酒井忠休が上野国5千石を加増され、松山城築城が許される		

酒井家庄内入部400年記念 酒井家と庄内藩ゆかりの地 [2023年3月31日発行]

編集製作 ● 酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会歴史文化部会

発行 ● 酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会

山形県鶴岡市上山添字文栄100番地 鶴岡市教育委員会社会教育課内 Tel.0235-57-4868



酒井家庄内入部400年

鶴ヶ岡城址周辺

中世、武藤家によって大宝寺城が築かれ、最上義光がこれを改築して鶴ヶ岡城と称した。酒井家3代忠勝は、庄内入部後に鶴ヶ岡城の改修に着手し、二ノ丸を拡充しながら、三ノ丸を整備。城下町の面影が現在の街並みに残っている。



1 鶴ヶ岡公園 (鶴ヶ岡城址)

酒井家が居城とした鶴ヶ岡城の本丸と二ノ丸址。堀や土塁に城の面影が残る。

鶴岡市馬場町 4



2 庄内神社

明治10年(1877)、鶴ヶ岡城本丸跡に創建。初代忠次をはじめ四柱を祀る。

鶴岡市馬場町 4-1
Tel.0235-22-8100



3 旧致道館

文化2年(1805)、9代忠徳が創設。「個性伸長」「自学自習」を重視した。

鶴岡市馬場町 11-45 Tel.0235-23-4672
【休】水曜(休日の場合は翌平日)



4 致道博物館

庄内藩の御用屋敷があった地にある博物館。庄内の歴史と文化を伝え、考古・歴史・民俗・美術資料を展示する。11代忠発の隠居所とされた御隠殿では藩主家伝来の名品などを展示、奥座敷から望む酒井氏庭園は国の名勝に指定されている。

鶴岡市家中新町 10-18
Tel.0235-22-1199
【休】12月~2月の水曜
【料】一般800円ほか



酒井家とともに移ってきた寺

大督寺、安国寺、総釋寺、金浄寺、光明寺、高運寺、蓮乗寺

城下の面影

内川
鶴ヶ岡城三ノ丸の堀に位置付けられた。鶴岡市街地を流れ、金峯山とともに人々に親しまれている。

木戸口跡・三ノ丸
家中屋敷から成る三ノ丸に配された木戸口は、十一口で「吉」とされた。

外堀堀
内川と同じく城の北側の防衛線となる堀。青龍寺川から水が引かれている。

鶴岡広域・庄内

現在の庄内2市3町(鶴岡市・酒田市・三川町・庄内町・遊佐町)は、江戸期の庄内藩領に重なる。各地に酒井家・庄内藩ゆかりの名所やその歴史を伝える文化施設が点在している。



1 本間家旧本邸

明和5年(1768)、出羽酒田の豪商・本間光丘が幕府巡見使宿舎として建築。武家屋敷と商家造りが一体となっている。

酒田市二番町 12-13 Tel.0234-22-3562
【休】12月中旬~1月下旬 / 【料】大人900円ほか



2 山居倉庫

明治26年(1893)、酒井家を中心となって酒田米穀取引所の付属倉庫として建造。

酒田市山居町 1-1-8
Tel.0234-23-7470 (庄内米歴史資料館)



3 亀ヶ崎城跡

戦国期に築城され、酒井家入部後に庄内藩の支城となる。本丸・二ノ丸跡は高校の敷地となり、土塁が残る。

酒田市亀ヶ崎 1-3
(山形県立酒田東高等学校敷地内)



4 松山

3代忠勝の3男忠恒に分与され支藩・松山藩となる。大手門(県指定文化財)、松山藩酒井家の菩提寺・心光寺、忠次と信康を合祀した中山神社がある。

酒田市新屋敷 36-2 (松山文化伝承館)
Tel.0234-62-2632 【休】月曜



5 旧錠屋

湊町酒田の廻船問屋で、北前船文化を伝える。

酒田市中町 1-14-20
※令和7年3月まで耐震工事中。



6 本間美術館

「鶴舞園」「清遠閣」は藩主の領内巡見の休憩所。

酒田市御成町 7-7 Tel.0234-24-4311
【休】12~2月の火・水曜 / 【料】1,100円ほか



7 三崎山の戊辰戦争史跡

山形県と秋田県の県境で戊辰戦争慰霊碑がある。

遊佐町吹浦三崎地内



9 松ヶ岡開墾場

明治期、旧藩士3000人が開墾した地。本陣と寮室5棟が残る。

鶴岡市羽黒町手向字手向 7
Tel.0235-64-1331 【休】水曜



8 清川

関所があり戊辰戦争の戦地となった。令和元年(2019)、番所を復原。最上家家臣北館大学利長が開削した北楯大堰がある。

庄内町清川花崎 1-1
Tel.0235-25-5885 (清川歴史公園)



10 出羽三山神社(東照社)

正保2年(1645)、6代忠真が、徳川家康を祀る社殿を寄進。

鶴岡市羽黒町山手字手向 7
Tel.0235-62-2355



11 春日神社

酒井家が黒川能を庇護。上覧能の際、酒井家より装束や能面などを拝領した。

鶴岡市黒川字宮の下 291
Tel.0235-57-3019



12 金峯山(金峯神社)

酒井家の祈願所とされ、社殿の修復への寄進など藩の庇護を受けた。

鶴岡市青龍寺字金峰 1
Tel.0235-23-7863



15 道林寺

3代忠勝の7男で、支藩・大山藩主忠解の菩提寺。

鶴岡市大山三丁目 3-16
Tel.0235-33-3556



13 酒井神社

三方領知替えの幕府が撤回され、酒井家の仁政を伝えるため建立された。

鶴岡市馬町字池ノ下 111-2
Tel.0235-26-1717



14 丸岡城跡

加藤清正の子・忠廣が藩預かりとなり居館を構えた地。御居間や水路などの痕跡が残る。

鶴岡市丸岡町内 36
(丸岡城跡史跡公園)



17 近世念珠関跡

庄内藩の関所のひとつで、古代関所を酒井家が移転・整備したといわれる。

鶴岡市辰ヶ岡甲 246



5 大督寺

酒井家の菩提寺。初代忠次や妻・碓井姫、歴代の位牌が安置されている。

鶴岡市家中新町 19-12
Tel.0235-22-8269



6 酒井家墓所

大督寺より分地した酒井家歴代当主の墓所。公開に向けて調整中。

鶴岡市家中新町 19-12



8 丙申堂の武家門

旧風間家住宅丙申堂は、古くは家老屋敷があった地で、その武家門が残る。

鶴岡市馬場町 1-17
Tel.0235-22-0015 【館内有料】



9 総釋寺

三河国から酒井家とともに移る。3代忠勝の妻・鳥居姫の墓がある。

鶴岡市陽光町 5-2
Tel.0235-22-3044



7 管家庭園

藩の重臣で、西郷隆盛と親交のあった菅実秀が藩主より拝領した庭園。

鶴岡市家中新町 2-21 【個人宅】
Tel.0235-25-0925 (要予約)



10 龍覚寺

城の鬼門にあたり祈願所とされた。本堂の玄関は江戸屋敷から移されたもの。

鶴岡市泉町 1-13
Tel.0235-24-2033



11 山王日枝神社

忠次が死に関係があると伝わる松平信康(家康の長男)を祀る復讐霊社がある。

鶴岡市山王町 2-26
Tel.0235-23-3202



12 常念寺

境内の鐘楼は、大督寺から移された6代忠真の御霊屋。

鶴岡市睦町 1-1
Tel.0235-22-1622



13 鶴岡天満宮

菅原道真を祀る。酒井家の庇護を受け、藩士が参拝した歴史がある。

鶴岡市神明町 3-40
Tel.0235-22-3952